

## ■「高等学校理科用 教授資料 新編化学基礎 朱註」の訂正について

本書には、次のところに誤りがございます。深くお詫び申し上げますと共に、下記のように訂正の上、ご使用いただきますようお願いいたします。なお、教科書の縮刷部分に関しましては、小社 Web「教科書 訂正のお知らせ」ページでご確認ください。(株)新興出版社啓林館編集部

ページ	箇所	誤	正
5	右段下から 6 行目	ポリエチレン	ポリスチレン
26	左段下から 1 行目	飽和水酸化カルシウム水溶液をつくり、純水で約 2 倍に希釈したものをを用いるとよい。	飽和水酸化カルシウム水溶液をつくり、十分に静置後の上澄み液を用いるとよい。
33	報告書の表紙の例 右段 4 行目	天候	天気
42	左段 43 行目	$6.4 \times 10^6 \text{ m}$	$1.28 \times 10^7 \text{ m}$
〃	左段 45 行目	$1.6 \times 10^8$	$3.2 \times 10^8$
60	右段 2 行目	sp <sup>3</sup> 混成軌道	sp <sup>2</sup> 混成軌道
63	左段 4 行目	窒素に変化する。	窒素(と水蒸気)に変化する。
93	中段 図	メタンの燃焼熱は 890.7 k/mol	メタンの燃焼熱は 890.7 kJ/mol
138	左段下から 16 行目	発砲ポリスチレントレー	発泡ポリスチレントレー
158-iii	右段 20 行目 23 行目	希塩酸を 10 cm <sup>3</sup> ろ液を 2 cm <sup>3</sup>	希塩酸を 10 mL ろ液を 2 mL